

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年12月26日 No. 98

## 新春行動計画—全国で新年からダッシュ!

2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議へ「核兵器のない世界を」署名1200万筆を届けるため、2009年新年から出足早くとりくもうと各地で新年行動計画が組まれています。

静岡では1月1日正午から静岡市浅間神社・赤鳥居前で、石川では金沢市尾山神社前で午前10時から元旦行動。徳島では1月4日午前10時から一番札所の霊山寺境内で初詣署名を、京都では1月6日に清水寺で新春6・9行動を行います。

各地の行動計画をお寄せください。

### 被爆者募金目標きめ青年中心に署名行動 - 高知

高知県原水協は12月20日午後、高知市アーケードで「核兵器のない世界を」署名行動を行い、青年中心に5人で56筆集まりました。夕方からはピースパイオニアズ主催で「被爆者募金」行動。3人参加で、8747円集まりました。「被爆者募金お願いします」のパネルや被爆者の現状を書いたパネルを独自に作成し、原爆パネルやキャンドルを持ち寄って良い雰囲気でした(添付写真)。

高知では青年の関わりが強まっています。ピースパイオニアズは、冬のこの時期も活動することを決めました。原水協が行う被爆者見舞いにも参加してくれ、被爆者募金の目標も独自に決め上記のような行動も行いました。定期的に会議も持ち、「おじいちゃんのパイナップル」絵本の普及や、学習を行いながらピキニデーの参加も位置づけ活動をはじめています。



原爆パネルとキャンドルで宣伝する高知の青年ら

### 「被爆者をはげますつどい」で被爆者と家族108人が楽しく交流 京都



12月23日に開かれた今年の「被爆者をはげますつどい」には、京都に住む108人の被爆者・家族と出演者、実行委員会スタッフら200人が参加し、楽しく交流しました。

最初に、渡邊元治実行委員長があいさつ、今年1年間に団体・個人から寄せられた「見舞金」と手作りのひざ掛け、贈り物が手渡されました。

原爆症訴訟近畿弁護団の久米弘子弁護士は、原爆裁判の成果と課題を報告し、全面解決の支援をよびかけました。

お楽しみの部では、子どもたちのうたごえ(写真)フラダンスが披露され、親子サンタから贈り物を受け取った被爆者一人ひとりが紹介されました。最後に、被爆者を代表して被爆者懇談会の永原誠世話人代表がお礼を述べました。